

# わたしのくらし 地域の歴史⑱ 昭和の二小あれこれ

一 公民館白梅分館と学童たんぼぼクラブが併設されている、ここ白梅会館。この場所にはかつて、何があったかご存知ですか？この土地と教員の在り方、それぞれの移り変わりを、平成30年春の叙勲において瑞宝双光章（教育功労）を受賞された亀田宏さんに語っていただきます。――



## 1 亀田先生について

昭和6年、一九三一年生まれ。昭和27年に福生第二小学校に就職・勤務しました。

初めての就職だったので若気の至りで失敗談も多いけれど、夢中で一生懸命に勤務した覚えがあります。二小には昭和38年まで、11年勤務しました。

## 2 二小と現在の白梅会館

私が二小に就職当時、現在の白梅会館の敷地は教員用の住宅が並ん

でいました。この住宅は2〜3世帯がひとつの建物になっていて、私はその一角に住まわせていただいています。

今白梅会館のあるこの敷地は、二小運動会の100メートル走のスタート地点にもなっていました。二小の校庭から道を通って、100メートルの直線コースを作成しました。その際の交通はPTAが協力して通行を止め、利用していました。

この100メートル走路は昭和35年までは作成・使用が可能でしたが、その後現在の白梅会館の土地は学校のプールとなり、100メートル直線コースの作成が不可能になってしまいます。当時は二小の運動会というところ、こういった変わったことを皆でしていました。

## 3 プール建設までの経緯

プールが建設される昭和35年までは、児童の水遊びは多摩川の「五番」と呼ばれている所で行っていました。多摩川の岸に突堤があって、

その呼び名が「五番」だったことから皆にそう呼ばれていました。

児童らが泳ぎ始める夏の前に職員が竿を使って深さを確認し、危険箇所の調査を行っていました。突堤のすぐ下にえぐれて深い部分があり、大人の背丈でも足がつかず大変危険な箇所です。そういった危険な箇所を毎年調査し、夏前に皆に伝えていました。

それでも多摩川で水泳を行うことは危険が多く、安心して遊ぶことはできませんでした。水の事故は多く、色んな方が亡くなりました。特に五番の突堤の下は深く、校外指導部の人と協力してえぐれた部分を埋めようと思いましたが、うまくいきません。

そこで、当時いた小野沢先生という熱心な先生の案で、駐留軍所有のブルドーザーを借りて深い部分を埋めよう、という話になりました。

駐留軍のブルドーザーは簡単には借りられないのではないかと、という声もあり、皆で考えたところ、と

にかく行って頼んでみようということになりました。小野沢先生と私で、拜島駅のちよっと下の方（？）に住んでいる方に頼みに行きました。その方は坂本九さんの奥さんの姉妹の旦那さんで、駐留軍の一等通訳官でした。

結果「子どものためだからいいだろう」と、駐留軍になんとか話を付けてくれました。その翌日にはブルドーザーが多摩川の下を砂利をさらって、五番の下を深いところに寄せ埋めてくれました。

こうして、その旦那さんのおかげで五番の危険な箇所は平らになり、仮設プールのようになり、ようやく児童らが泳げるようになりました。

その後昭和35年にプールが建設されることになりました。われわれ職員もプールについて意見を聞かれ、答えた覚えがあります。水泳や水遊びにあたりプール以上に安全なものはありませんので、無事、現在の白梅会館の敷地に二小のプールが建設されました。ただし、そのために運動会の100メートル走のコースはもう作れなくなってしまいました。

#### 4 児童や保護者と接して

私はほとんどを奥多摩で育ち、奥多摩が生活圈となつていきます。そのため、奥多摩の山はだいたい歩いてきました。教員をつとめて5、6年生の担任をすることが多かったのですが、日曜日になると時間ができるので、児童らを奥多摩の山々に連れて行くことと考えました。

校長先生に事前に話をし、児童らと拜島駅に集合して、私と児童はいろんな山へ行きました。山へ連れて行った児童に、景色の中にある山を指して「将来登ってみろ」ということを言ったことが何度かあります。それを児童が覚えていて、本当に大きくなってからその山に挑戦した子もいました。それから山が好きになって日本百名山に登った子も、山の写真を撮るようになった子もいます。写真を撮るようになった子は本格的にカメラ等機材も揃えて、山の写真を私に送ってくれたりします。

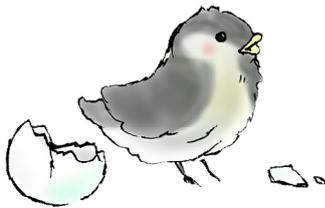
ここまで雑然と話しましたが、当時の学校と社会は今とはかなり違つたように思えます。われわれが教員をしていた頃は、保護者の方がとにかく教員を信頼し「先生頼んだよ」「任せたよ」というように、児童を任せてくれました。そんな保護者の気持ちにより、われわれも適当

なことはできないと、一生懸命に頑張る気持ちが生まれました。それが子どもにも伝わつたのでしょうか。私たち先生が一生懸命なら、一緒に頑張って頑張ってくれる児童ばかりでした。

私は実のところ、今の学校はよく知りません。「今の学校」と一言では言い表せない、ということとは承知しています。

ただ、私が教員をつとめていた頃はとてもゆるやかな時代でした。今は社会全体が厳しくなり、教員への締め付けも大きいように感じます。今は、教員の皆さんものびのびと指導ができなくなっているのではないのでしょうか。昔と今とは、保護者と教員の関係が違つているような気がしています。

(語り部 亀田宏さん)



#### 《福生フェリシダージ》 (ラテンパーカッション)

今年の3月に結成した「ラテンパーカッション」のサークルです。にぎやかな太鼓のリズムで、一緒にブラジルの風を感じましょう。

活動日 毎月2回 第1・3日曜日  
午後1時30分～3時30分  
会費 月額 3,000円  
連絡先 古屋 090-9398-9068

#### 《いろは会》 (かな習字)

かな文字と日常の書を学んでいます。女性ばかりですので、会話ははずみます。ぜひ仲間になってください。

活動日 毎月2回 第2・4木曜日  
午後1時30分～3時30分  
会費 月額 2,000円  
連絡先 吉田 042-551-7173



### ただいま会員募集中!

公民館白梅分館を使用しているサークルの会員募集中です。

#### ◆公民館主催事業のお知らせ

##### 市民企画講座 準備会

あなたの思いを公民館の講座にしてみませんか? 知りたい・学びたいを持ち寄って、自由に話して企画をデザインしましょう!

気軽にお越しください!

【日時】5月22日(水)  
午後7時～8時30分

※第2回以降の日程は、参加者の皆さんと決定します。

【場所】白梅分館 1階学習室

【問合せ】公民館白梅分館

☎042-553-3454